

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の運営理念とケア理念が職員全員に浸透していない。また、理念自体が、立ち上げ当初に、施設長と副施設長、管理者とで考えたものであり、実際に現場で働く職員と一緒に作りあげたものではない。	地域密着も含めた運営理念、ケア理念をグループホーム稲穂に関わる職員みんなで作成し、実践に向けて取り組んでいきたい。	①職員会において、すべての職員に事業所の運営理念、ケア理念とは何かを説明する。 ②すべての職員それぞれに考えてきてもらう。 ③職員会でそれぞれが考えてきたものを出し合い、みんなで検討し決定する。	5ヶ月
2	26	介護計画の作成は、計画作成担当者が1人で行っており、チームでの介護計画作成や目標の周知徹底ができていない。	介護計画の周知徹底と介護計画に沿ったケア、介護記録ができるようにチームで取り組んでいきたい。 また、チームで介護計画作成ができるようになりたい。	①勉強会を開き、すべての職員に、介護計画の重要性と、入居されている方の現在の介護計画書を説明し、目標などの周知徹底を図る。 ②勉強会を開き、介護計画の作成方法について説明し、チームで入居者を担当し、それぞれに介護計画作成をおこなう。 ③介護支援専門員と一緒に、それぞれの介護計画書について検討しアドバイスを貰うなどした上で実践に生かす。	6ヶ月
3	4	運営推進会議に地区長や民生委員、入居者家族などの出席がほとんどない状況で、メンバーはほとんど同じ顔ぶれである。	地区長、民生委員、入居者家族等少しでも多くの方に参加していただけるような運営推進会議にしたい。	①案内文を早めに作成し、地区長や民生委員、家族などには直接手渡しし出席のお願いをする。 ②運営推進会議の内容について、今までの出席者にアンケートを実施し、会議の内容や開催日・時間などの見直しを行う。	5ヶ月
4	33	入居時に重度化した場合の説明をおこない、同意書も作成している。しかし、実際に重度化した場合の職員体制や終末期に向けた取り組みへの説明や勉強会など具体的なことは何もしていない。	入居者、家族が、安心した終末期を迎えることが出来るよう、チームでの支援に向けた取り組みをおこなっていく。	①ホームとしての終末期についての方針を、すべての職員に説明した上で、実際にそうなった時の不安などをみんなで出し合う。 ②終末期に向け、私達介護職に何が出来るのか、何が必要なのかを検討し、それに沿った勉強会をおこなう。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。